

未来に羽ばたく
エールを贈る



SAWAYAKA JOURNAL

aiile

Vol.
23

[エール]

REVICareer(レビキャリア)を活用した
地域企業経営人材マッチング促進事業の案内

創業企業紹介

株式会社フルビオ

株式会社U5WORKS

大田区南六郷創業支援施設
六郷BASE

[さわやか信用金庫100周年記念]

事業者向けAI特別講演会

夢と未来のサポーター

 さわやか信用金庫

株式会社フルビオ

自然に学び、
生産現場へ生かす。
フルボ酸の
パイオニア企業



社長にインタビューしました
創業するきっかけについて
教えてください。

前職は畜産飼料と健康食品を販売する会社で、新たに農業分野の事業を立ち上げるタイミングで入社しました。

ここで「フルボ酸」などの「腐植物質」が日本の農業の課題を解決し畜産業も含めた第一次産業の持続可能性を飛躍的に高めること、そして資源の少ない国内で未利用資源の循環を回す大きな可能性を持っていることを確信しました。「色々な生産資材を販売する仕事」ではなく、日本の地方産業の役に立ち、豊かな食文化を守る仕事として専門的に取り組みたいと考えたのが独立のきっかけです。

創業時または創業後、苦労したことはどんなことですか。

既にある程度のビジネスモデルが構築できていたため、取引先の確保に関する苦労は少なかったです。その分創業当初から商品仕入れに係る金額が大きく、農業特有の、

御社の事業の特徴や独自性、強みはどんなところですか。

当社は「フルボ酸」を利用した農業資材、畜産資材の販売を行っています。カナダや国内の天然原料をベースに委託工場や堆肥場加工し、日本全国へ販売しています。環境の負荷を軽減し、植物本来の力を引き出すことで、農業や化学肥料を抑えた農業をサポートしています。

「フルボ酸」という他にないユニークな素材を持つこと、農業・畜産業の橋渡しとなって両産業にメリットを提供する事業を行えること（耕畜連携と言います）が大きな強みとなっています。

また、農業は他の産業に比べて景気や流行り廃りに左右される部分が少ない産業です。コロナ禍の間でも大きく売り上げが落ち込むことはありませんでした。

土壌改良資材について教えてください。

近代農業は化学肥料や農薬の使用で、生産量を飛躍的に上げましたが、その分生産を支える大本である農地のケア（土作り）が不十分となつてしまい、土地の力（地力）が低下したため、

について、さわやか信金さんは大きな力になっていただいたので、感謝しています。定期的に担当の方が訪問してくれるので、ちょっとした相談もし易いと感じています。

（1）フルボ酸とは、自然界に存在する天然有機物です。化成肥料や農薬などケミカルなものとは異なり、動植物の遺骸などが微生物によって分解された後に生成される腐植物質の種。植物のミネラル補給や養分供給・土壌微生物の活性化に優れたフルボ酸は、土壌改良や植物活性に欠かせない重要な物質です。

最後にさわやか信用金庫についての感想をお聞かせください。

創業初期にもっとも苦労した資金

農業は日々の天候への対応と、毎年の繰り返し作業が基本で、私たち地道な営業活動となりません。急な拡大は目指していません。自然にやさしく、100年先も持続可能な農業が時代のニーズです。私たちの技術は必ずその助けになれると確信しています。

畜産資材・畜産業について教えてください。

効果の基本となるのは同じ「フルボ酸」で、資材を家畜に与えることで、家畜の健康をサポートすることができま。また、排出されるふん尿を、土作り効果の高い特殊な肥料に生まれ変わらせることができ、廃棄物に高い付加価値を与えます。

現在の課題、問題点等教えてください。

よく言われるように、農業は最も高齢化の進んでいる産業で、「担い手」不足は深刻です。農家や農地が減れば、販売できる資材の量も減ってしまいます。

私たちは、厳しい環境の中で農業を続けるという生産者にこそ助けとなり、選んでもらえる技術を提案していきたいと考えています。

今後の計画、展望について教えてください。

商品紹介

フルボ鉄®

土壌・植物活性粒剤

フルボ酸には強いキレート⁽²⁾作用があり、水に溶けないミネラル分や鉄分をキレート化し、作物に吸収しやすくなります。また、キレート鉄により、植物の光合成を補助、日照不足対策に効果を発揮します。

(2) キレートとは、ギリシャ語で「カニのハサミ」を意味し、金属イオン有害物質を挟み込んで吸収されやすしたり、無害化したりする仕組み。



地力の素®

土壌改良材

土作りの基本となる、粒状の商品。少量施用で素早く土壌を改良します。培養土や堆肥との混合に適しており、育苗用土にも使えます。



製品「地力の素」や「フルボ鉄」は、フルボ酸をベースに様々な加工をして製品化したものです。

家庭園芸用にも商品化!



HPはこちら▶

■会社概要
社名 株式会社フルビオ (敬称略)
所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-16-5 芝ビル3F
ホームページ <https://www.fulbio.co.jp>
電話番号 03-4500-8130
FAX 03-4500-8134
代表取締役 穂満 孝基
事業内容 農業用肥料・土壌改良資材の販売。農業用フルボ酸資材として国内ほぼ唯一の資材展開を行う。カナダや国内から仕入れた天然原料を委託工場加工し、主に20Kg袋や20Lのパックインボックス液体品を販売。
従業員 3名

■会社沿革
2024年9月 法人設立
2024年10月 東京都港区浜松町1-16-5 芝ビル3Fへ移転現在に至る

■代表取締役 経歴
1980年2月 大阪府堺市にて出生
2002年3月 近畿大学農学部 卒業
2009年5月 株式会社ピアイシ・バイオ 入社
2024年9月 上記退職後、株式会社フルビオ 設立現在に至る



▲水田 (山形県)



▲メロン・ミニトマト (千葉県)



▲花苗の試験



▲イチゴ (神奈川県)



▲試験畑で(茨城県)で作業を手伝う穂満社長



▲キャベツ (福岡県)



▲たい肥発酵の様子



▲高付加価値肥料に変換

畜産業との連携商品の開発の現場

具体的には、ふん尿などの畜産廃棄物をフルボ酸資材を用いた特殊な発酵処理をすることで廃棄物を価値のある肥料商品に変え、農地の生産力も回復させることができるという一石何鳥にもなる取り組みです。これは特許を取得した技術で、同じ問題を抱えつつあるタイやベトナムなどの海外からも視察が来ています。



▲牛舎 (北海道)

港区立産業振興センターのご案内

エール 23 号では、札の辻スクエア（港区立産業振興センター）において当金庫にご相談いただいた創業企業を特集いたします。東京港支店のお取引先の株式会社フルビオ様と芝浦支店のお取引先の株式会社U5WORKS様を取材させていただきました。

札の辻スクエアでは事業者からのさまざまな相談内容に応じた無料のあらゆる相談ブースを設置しています。



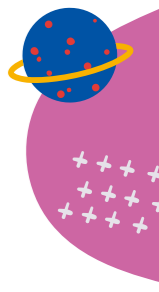
アクセス
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番4号
札の辻スクエア9F・10F・11F



創業企業紹介

株式会社

U5WORKS



■会社概要 (敬称略)	
設立	2022年5月17日法人設立
社名	株式会社U5WORKS
所在地	〒108-0014 東京都港区芝5-36-4 札の辻スクエア9F
ホームページ	U5WORKS : https://u5works.co.jp デイロボ : https://www.dayrobo.com
代表取締役	坂田 一祥
資本金	550万円
事業内容	革新的なウェブビジネスソリューションの提供 企画から設計、開発、デザイン、運用まで一貫したサービスの提供
サービス内容	児童発達支援・放課後等デイサービス向け業務支援クラウド「デイロボ」の開発・提供 システムおよびWebサービスの企画・開発・運用支援DevOps事業
従業員	業務委託を含む22名(2025年9月現在)
経営理念	「理性と人間性」の融合
ミッション	「理性と人間性」を融合させ、よりよいサービスを生み出し、社会課題を解決する

■社長経歴
約30年にわたりIT業界に携わり、システム開発の最前線で経験を重ねてまいりました。新卒で入社したセゾン情報システムズでは、日本を代表する金融系システムに携わり、プログラマー・システムエンジニアとしてキャリアをスタート。その後、世界最大級のインターネットプロバイダAOL社にてプロジェクトマネージャーを務め、グローバルな開発や運営に従事しました。さらに、米国発マッチングサービスの日本進出を支援し、国内外でのプロジェクト推進や異文化連携を経験いたしました。2006年には仲間と共にWebシステムの受託開発会社を設立し、取締役として経営と開発の両面を統括。以来、現場に寄り添い、技術をもって課題を解決する姿勢を大切にまいりました。これからも、児童福祉サービスに関わる皆さま、子どもたち、そして保護者の方々に寄り添いながら、培った経験を活かして、安心できる支援環境づくりに貢献してまいります。

■会社沿革
2021年 児童福祉サービスの現場課題をきっかけに構想
株式会社U5WORKS 設立
2022年 児童発達支援・放課後等デイサービス向け業務支援クラウド「デイロボ」の開発
2023年 児童発達支援・放課後等デイサービス向け業務支援クラウド「デイロボ」正式リリース

株式会社U5WORKSは、「理性と人間性」を融合させ、よりよいサービスを生み出し、社会課題を解決する企業です。AI/DXパートナーとして人とテクノロジーを共創させることを目指しています。
社名の由来にもある5つの「U」(Unique/Unite/Utilize/Update/Uphold)の精神を軸に、既存概念にとらわれない発想と実装力あるテクノロジーで価値を創出しています。チーム・お客様・パートナー・社会と共につながり合いながら、持続可能な未来に向けて安心して使えるサービスを提供してまいります。



Q 現在の課題や悩み事等ございますか。
これまでの事業推進においては、プロダクト・組織ともに常に「軌道に乗せなければならぬ課題」と向き合っていました。立ち上げ初期は衝突や摩擦も少なからずありましたが、幸いにも信頼で

さらに、「高品質でありながら導入しやすい価格帯」も選ばれる理由のひとつとなっています。ICTへの適切な投資の重要性を訴える一方で、現場の財政事情にも配慮し、月1万円台から導入可能な価格設計を実現。「無理なく長く使い続けられる仕組み」を提供しています。
実際、支援現場との継続的な対話のなかで、音声入力、AIによる記録補助、LINE連携などを進化させてきました。このプロセスこそが、「技術と創造性の融合」であり、U5WORKSらしい価値創出のかたちです。
単なる「作る・直す」にとどまらず、現場の感性や課題意識と、私たちの技術的視点とを融合させながら、持続的に伴走する開発支援を強みとしています。
私たちはこれからも、現場に触れ、社会に学びながら、「技術と感性の融合」を通じて、目の前の業務だけでなくその先の未来まで課題解決し、支える価値を提供していきます。

一方で、子ども一人ひとりに真摯に向き合う支援者の姿があり、「本来の支援に集中できる環境をつくりたい」「現在の記録を未来に残せる仕組みをつくりたい」との思いが強まりました。支援履歴や傾向が蓄積されれば、子どもたちが将来進学・就労・福祉サービスを利用する際にも役立つと考えました。
こうした想いを原動力に、2022年5月に株式会社U5WORKSを創業し、業務支援クラウド「デイロボ」の開発・提供を開始しました。

「デイロボ」開発当初はいきなり口コミが広がることはなく、試行錯誤の連続でした。まずは、友人が運営する放課後等デイサービスとその近隣の事業所に導入いただき、紹介を重ねながら10事業所ほどに広がっていきました。現場を一つひとつ訪ね、職員の方々の声を直接聞きながら機能を磨くという、地道な積み重ねの日々でした。
当初は横浜市を拠点にドミナント戦略を描き、電話やDMで営業活動を行いました。現場の先生方は多忙でアポイントを取るだけでも一苦労、思うように進まないことも多くありました。それでも活動を続けるうちに、福祉業界特有の横のつながりから遠方の事業所にも広がり、徐々に手応えを得られるようになりました。
さらに、「汎用化」に向けた体制づくりも大きな課題でした。特定の現場仕様ではなく、多くの事業所で使えるプロダクトにするためには、人材や資金の確保が不可欠でした。受託開発を得意とする前職の仲間10名が理念に共感し、開発チームとして参画。既存顧客を引き継いでくれたことで売上が立ち、運転資金を確保することができました。

Q 創業前または創業後苦労したことはどんなことですか。
「デイロボ」が開発当初は口コミが広がることはなく、試行錯誤の連続でした。まずは、友人が運営する放課後等デイサービスとその近隣の事業所に導入いただき、紹介を重ねながら10事業所ほどに広がっていきました。現場を一つひとつ訪ね、職員の方々の声を直接聞きながら機能を磨くという、地道な積み重ねの日々でした。
当初は横浜市を拠点にドミナント戦略を描き、電話やDMで営業活動を行いました。現場の先生方は多忙でアポイントを取るだけでも一苦労、思うように進まないことも多くありました。それでも活動を続けるうちに、福祉業界特有の横のつながりから遠方の事業所にも広がり、徐々に手応えを得られるようになりました。
さらに、「汎用化」に向けた体制づくりも大きな課題でした。特定の現場仕様ではなく、多くの事業所で使えるプロダクトにするためには、人材や資金の確保が不可欠でした。受託開発を得意とする前職の仲間10名が理念に共感し、開発チームとして参画。既存顧客を引き継いでくれたことで売上が立ち、運転資金を確保することができました。

Q 今後の計画、展望について教えてください。
当社が開発・提供している児童福祉向けクラウドサービス「デイロボ」は、リリース以来、多くの現場でご活用いただけてきました。その根底には常に、「もっと多くの方に、もっと安心して使っていただきたい」という思いがあります。そのうえで、今後の展望としては、2つの方向性でサービスをさらに進化させていく計画です。
まず一つ目は、AIによる業務効率化の徹底です。
福祉現場には、「記録業務」や「定型的な入力作業」など、日々の支援に欠かせないものの、手間と時間のかかる作業が数多く存在します。私たちはそれらをできる限り

「U5WORKSは信用できる会社だ」「良い会社だ」と自然に思っていたただける状態をどのように作っていくかも重要なテーマです。たとえ当社を全くご存じない方であっても、組織としての安定性や意思決定プロセスの信頼性が伝わるような、外部からの評価にも耐えうる体制づくりを、今後さらに進めていく必要があると考えています。
また、社外から見たときに「U5WORKSは信用できる会社だ」「良い会社だ」と自然に思っていたただける状態をどのように作っていくかも重要なテーマです。たとえ当社を全くご存じない方であっても、組織としての安定性や意思決定プロセスの信頼性が伝わるような、外部からの評価にも耐えうる体制づくりを、今後さらに進めていく必要があると考えています。

一方で現時点での課題としては、代表である私が不在でも自走できる強い組織体制の構築が挙げられます。
また、社外から見たときに「U5WORKSは信用できる会社だ」「良い会社だ」と自然に思っていたただける状態をどのように作っていくかも重要なテーマです。たとえ当社を全くご存じない方であっても、組織としての安定性や意思決定プロセスの信頼性が伝わるような、外部からの評価にも耐えうる体制づくりを、今後さらに進めていく必要があると考えています。

Q 御社の事業の特徴や独自性、強みはどんなところですか。
U5WORKSが開発・提供する

「デイロボ」が開発当初は口コミが広がることはなく、試行錯誤の連続でした。まずは、友人が運営する放課後等デイサービスとその近隣の事業所に導入いただき、紹介を重ねながら10事業所ほどに広がっていきました。現場を一つひとつ訪ね、職員の方々の声を直接聞きながら機能を磨くという、地道な積み重ねの日々でした。
当初は横浜市を拠点にドミナント戦略を描き、電話やDMで営業活動を行いました。現場の先生方は多忙でアポイントを取るだけでも一苦労、思うように進まないことも多くありました。それでも活動を続けるうちに、福祉業界特有の横のつながりから遠方の事業所にも広がり、徐々に手応えを得られるようになりました。
さらに、「汎用化」に向けた体制づくりも大きな課題でした。特定の現場仕様ではなく、多くの事業所で使えるプロダクトにするためには、人材や資金の確保が不可欠でした。受託開発を得意とする前職の仲間10名が理念に共感し、開発チームとして参画。既存顧客を引き継いでくれたことで売上が立ち、運転資金を確保することができました。

Q 最後にさわやか信用金庫の感想をお聞かせください。
地域に根ざし、中小企業一社一社と丁寧に向き合ってください。「さわやか信用金庫」様のような存在は、非常に心強く、ありがたいパートナーだと感じています。取材を通して、単なる金融支援にとどまらず、事業の背景や想い、今後の展望まで真摯に受け止めてくださったことが強く印象に残りました。

AIで代替し、支援者が人にしかできないことに集中できる環境を整えたいと考えています。
二つ目の展望は、「デイロボ」の支援対象の拡張です。
現在は、0〜18歳の児童を対象とした福祉サービスの現場でご利用いただけていますが、今後は成人施設や就労支援施設など、18歳以降の領域へもサービスの幅を広げていくことを構想しています。
児童期に蓄積された療育の記録や服薬履歴、保護者とのやりとりなどの情報は、本人が社会に出ても非常に重要な意味を持つからです。どんな特性があり、どんな支援が有効だったのか、どんな状況で落ち着き、どうすれば安心して生活できるのか。こうした記録は、その人の「これまで」と「これから」をつなぐ、大切な情報資産になります。将来的には、児童期から成人期まで一貫して活用できる支援記録のしくみを整え、人生に寄り添い続ける情報インフラを目指してまいります。

「人手不足で子どもと向き合う時間すら確保できない」そんな現場の声にこたえるべく、音声入力による記録補助、AIによる請求処理の自動化、児童ごとの傾向分析、LINEでの連絡帳送信やデジタルサイン機能など、支援者とともに磨き上げた使える技術を積極的に実装しています。
プロダクトの最大の特長は、施設ごとの運用ルールに対応できる「汎用性」と「カスタマイズの柔軟性」にあります。たとえば、連絡帳の記入タイミングや担当者は事業所によって異なりますが、「デイロボ」はその多様性を許容するプラットフォーム型設計を採用。業務フローを無理にシステム化せず、「今のやり方でも」「変えたい場合も」受け入れられる自由度を大切にしています。
開発チームはすべて社内在籍。受託開発で培った技術力を活かし、スピーディな機能追加や改善対応を行う体制が整っており、「現場に本場に合った」「要望を形にしてくれた」といった声が多く、口コミベースで全国に広がりを見せています。
2022年のリリースからわずか3年で、全国400以上の福祉事業所に導入。現在も月30〜40件

「人手不足で子どもと向き合う時間すら確保できない」そんな現場の声にこたえるべく、音声入力による記録補助、AIによる請求処理の自動化、児童ごとの傾向分析、LINEでの連絡帳送信やデジタルサイン機能など、支援者とともに磨き上げた使える技術を積極的に実装しています。
プロダクトの最大の特長は、施設ごとの運用ルールに対応できる「汎用性」と「カスタマイズの柔軟性」にあります。たとえば、連絡帳の記入タイミングや担当者は事業所によって異なりますが、「デイロボ」はその多様性を許容するプラットフォーム型設計を採用。業務フローを無理にシステム化せず、「今のやり方でも」「変えたい場合も」受け入れられる自由度を大切にしています。
開発チームはすべて社内在籍。受託開発で培った技術力を活かし、スピーディな機能追加や改善対応を行う体制が整っており、「現場に本場に合った」「要望を形にしてくれた」といった声が多く、口コミベースで全国に広がりを見せています。
2022年のリリースからわずか3年で、全国400以上の福祉事業所に導入。現在も月30〜40件

「人手不足で子どもと向き合う時間すら確保できない」そんな現場の声にこたえるべく、音声入力による記録補助、AIによる請求処理の自動化、児童ごとの傾向分析、LINEでの連絡帳送信やデジタルサイン機能など、支援者とともに磨き上げた使える技術を積極的に実装しています。
プロダクトの最大の特長は、施設ごとの運用ルールに対応できる「汎用性」と「カスタマイズの柔軟性」にあります。たとえば、連絡帳の記入タイミングや担当者は事業所によって異なりますが、「デイロボ」はその多様性を許容するプラットフォーム型設計を採用。業務フローを無理にシステム化せず、「今のやり方でも」「変えたい場合も」受け入れられる自由度を大切にしています。
開発チームはすべて社内在籍。受託開発で培った技術力を活かし、スピーディな機能追加や改善対応を行う体制が整っており、「現場に本場に合った」「要望を形にしてくれた」といった声が多く、口コミベースで全国に広がりを見せています。
2022年のリリースからわずか3年で、全国400以上の福祉事業所に導入。現在も月30〜40件

大田区南六郷創業支援施設

六郷BASE

新ビジネスへの挑戦者を応援！

ものづくりのまちとして全国に知られる大田区。町工場が多く集積する南六郷エリアにある六郷BASEは、起業家や中小企業向けの創業支援施設で、現在約40社が入居中です。
コワーキングスペースや個室オフィスを備え、新ビジネスに挑戦する起業家や起業を目指す方に、ワークスペースやノウハウ、マッチングの機会を提供。入居者は、月額4万2千円の個室オフィスや月額8千円のコワーキングスペースを利用でき、会議室も無料です。
ものづくり企業に限らず、テクノロジーやクリエイティブ、マーケティングなど、さまざまな領域を越えて新たな価値を生み出そうとする方々の入居を募集しています。
当金庫は大田区と包括連携協定を締結しており、創業者支援事業として六郷BASEへ定期的に職員を派遣し、資金相談や経営相談に応じています。



所在地 東京都大田区南六郷 3-10-16
開館時間 10時～18時(最終受付17時)
休館日 年末年始(12/29～1/3)
URL https://rokugobase.com/
アクセス 京浜急行本線「六郷土手駅」「雑色駅」より徒歩13分
JR京浜東北線蒲田駅東口 京急バス「六郷小学校」下車徒歩1分



事業者向けAI特別講演会

さわやか信用金庫100周年記念として、160名のお取引先にご参加いただき、事業者向けAI特別講演を実施しました。参加された皆さまはAI技術の最新の動向に触れることができ、今後の事業展開に活用していくことができるとお話しされていました。また、懇親会ではお取引先同士の親睦を図ることができました。

【日程】2025年5月29日(木) 17時～20時
講演会 17時～ 懇親会 18時30分～
【場所】明治記念館 2階「蓬莱」
【講演内容】1.生成AIがもたらす未来～進化するAI時代に企業はどう備えるべきか?～
株式会社NTTデータ 部長 野村 哲郎氏
2.日本の課題を解決するDX・AI
衆議院議員 平 将明(前デジタル大臣)氏
【出席人数】お客様164名



篠理事長による挨拶



衆議院議員 平 前デジタル大臣による講演



株式会社NTTデータ野村部長による講演



懇親会の様子

REVICareer (レビキャリア) について

REVICareer (レビキャリア) を活用した地域企業経営人材マッチング促進事業のご案内

大企業人材を「転籍」「兼業・副業」「在籍出向」の形態で採用・活用いただけます。

さわやか信用金庫は中小企業の人手不足を解消し、地域経済の活性化を図るため、REVICareer (レビキャリア) の登録金融機関となりました。

地域企業経営人材マッチング促進事業とは、地域の中堅・中小企業の人材確保を進めるため、REVICareer を活用して、大企業から地域の中堅・中小企業への経営人材マッチングを促進する事業です。

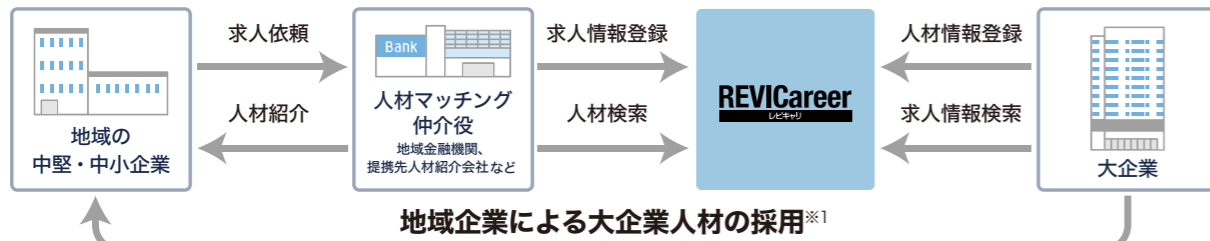
この事業は地域経済活性化支援機構 (REVIC) が実施、運営する金融庁の補助事業です。

企業の経営革新・生産性向上を図り、地域経済を活性化させることを目的としており、転籍の他、兼業・副業、在籍出向などの形態でご活用いただけます。当金庫とお取引があり、経営人材、後継者、幹部人材等の求人をご検討の際は、当金庫までご相談ください。

(1) 大企業とは、資本金10億円以上または常時使用する従業員が2,000人を超える法人をいいます。事業の詳細は、「地域企業経営人材マッチング促進事業」の特設サイト (https://revicareer.jp/) をご覧ください

REVICareer とは「大企業から地域の中堅・中小企業への新しい人の流れ」の創出を目的とする政策 (地域企業経営人材マッチング促進事業) の一環で整備された、都市部大企業のビジネスパーソンの自発的なキャリアデザインとネクストキャリアを支援するプラットフォームです。

イメージ図



地域企業による大企業人材の採用※1

※1 人材マッチングに関する紹介手数料等が必要になります。詳しくは地域金融機関等にご確認ください。

採用した地域企業の申請に基づきREVICから給付金支払

REVICareer登録人材を採用した企業に給付金を支給する制度があります。

地域企業経営人材確保支援事業給付金 (最大で450万円)

給付金を受給するには、給付要件があります。特設サイトの「給付金について」(https://revicareer.jp/employ/subsidy/) をご覧ください。

給付金について



REVICareer (レビキャリア) によるマッチングの具体例

- 事例1 外食サービス業出身・首都圏在住・40歳代 → 首都圏の食品加工卸売業にて企画営業職として採用
事例2 メーカー出身・首都圏在住・50歳代 → 首都圏の食品専門商にて企画営業管理職として採用
事例3 繊維製品メーカー出身・首都圏在住・60歳代 → 関東地方の不動産業にて経理課長候補として採用

マッチング事例



今回の広報誌「aile Vol. 23」では巻頭記事として、当金庫と取引のある創業企業を掲載いたしました。経営者の方々の創業のきっかけや創業時の課題や悩み、また今後、こうやっていきたいという前向きな姿勢や展望などをお聞きすることができました。
当金庫は来年100周年を迎えますが、共に成長していきたいように努力していきたいと思っております。
次号では本ページに掲載した「六郷BASE」を更に詳しく取材し「六郷BASE」でご相談いただいた創業企業についても掲載していきたいと考えています。

編集後記



当金庫HPはこちら



100周年記念定期預金

アニバーサリー100

2026年11月11日 創立100周年
ありがとうございますの気持ちを金利に込めました!

3年もの

1.000%

(税引後 0.796%)

お取扱期間 2025年10月1日(水)～2026年3月31日(火)

※但し、お取扱期間中であっても販売枠に達し次第、販売を終了します。

新たな資金でお預け入れいただける個人のお客さま

- | | |
|-----------|--|
| 1. 販売枠 | 300億円 |
| 2. ご預金の種類 | 自動継続式スーパー定期3年もの(複利型) |
| 3. 預入期間 | 3年 自動継続(元金継続、元利金継続)扱いとなります。 |
| 4. お預入金額 | おひとりさま100万円以上5,000万円以内(1円単位) |
| 5. 適用金利 | 固定金利(下記適用金利を初回満期日まで適用します。)
3年 年1,000%(税引後 年0.796%)
本商品の金利適用期間は、初回満期日までとなります。以後3年毎の自動継続日には、預入金額に応じた3年ものの店頭表示金利を適用します。 |
| 6. 税金 | 20.315%の源泉分離課税(国税15.315%、地方税5%)
*ただしマル優をご利用の場合は除きます。
注) 2037年12月31日までの間にお受取りになる利息等には「復興特別所得税(0.315%)」が付加課税されます。 |
| 7. その他 | ・預金保険制度の付保対象預金です。
・本商品のご契約は、店舗のみとなります。 |

